



独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が発行する 「サステナビリティボンド」への投資について

春日井市（以下「本市」という。）は、このたび、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構（以下、「同機構」という。）が発行するCBI⁽¹⁾認証付きサステナビリティボンド（第175回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券、以下「本債券」という。）への投資を決定しましたので、お知らせします。

同機構は、本市の公共交通において重要な役割を担う愛知環状鉄道やTKJ（JR東海交通事業）城北線の整備など、本市の特性である利便性の高い交通網の配備に深く関与しています。

鉄道・船舶による交通ネットワークの整備や支援を通じて社会的・環境的課題の解決に取り組む、同機構による本債券の発行主旨を受け、本市は保有する基金の一部を活用し、投資を行うこととしたものです。

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の使途が、(1)環境的便益事業（環境改善効果を有する事業）及び(2)社会的便益事業（社会的課題の解決に資する事業）の双方を有する債券です。

本債券の発行による資金調達は、環境負荷を低減させる交通インフラの整備などのグリーンプロジェクトに100%充当されるほか、地域の生活に必要不可欠というソーシャル性を有するとともに、国連の持続可能な開発目標(SDGs)⁽²⁾の達成にも貢献します。

【購入債券の概要】

銘柄等	第 175 回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券（5 年）
購入額	1 億円
発行日	令和 7 年 8 月 28 日

(1) CBI(Climate Bonds Initiative)：低炭素経済に向けた大規模投資を促進する国際NGO

(2) 持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと